

文化通信(速報) 25年5月14日(15649号) 第三種郵便物認可

◎映画「樹海のふたり」完成、7月6日公開へ

山口秀矢氏が映画初監督し新しい出口を模索
いまじん・えふぶんの耆らTV制作4社製作

テレビ番組制作会社のいまじん、えふぶんの耆、キメラ、メディア・バスターズの4社が共同出資して製作委員会を組み製作した、劇映画「樹海のふたり」がこの程完成した。

同映画は、ビデオカメラのフラインダー越しに覗いた他人の人生に触れた主人公のテレビディレクターが、自らの抱える家族との問題に向き合いながら人生の出口を模索していくヒューマンドラマ。テレビの報道番組制作に関わるテレビディレクターたちの実体験をもとにして、数々のテレビ・ドキュメンタリーの秀作を手掛けてきた山口秀矢が脚本・監督を務め制作された。主演はお笑いコンビ・インパルスの板倉俊之と堤下敦の2人。その他、きたろう、遠藤久美子、中村敦夫、長谷川初範、新井康弘、関口知宏、藤田弓子、鳥丸せつ子らが出演。撮影は、「誰も知らない」「ワンドフルライフ」の山崎裕が担当。今年2月開催の「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2013」に正式出品し、スカパー!映画チャンネル賞を受賞している。

同映画は、配給アーク・フィルムズで、7月6日より渋谷・ユイロスぺースで都内独占ロードショー公開されることが決定。さらに順次全国公開される予定となっている。現在のところ決まっている公開スケジュールは以下の通り。▼名古屋・シネマスコレで7月13日より公開▼大阪・梅田ガーデンシネマおよび福岡・KBCシネマ1・2で7月公開予定▼札幌・シアターキノおよび静岡県浜松市・シネマeraで近日公開予定。

監督・脚本の山口秀矢は、「えふぶんの耆」の代取社長/ゼネラルプロデューサーであり、自ら多数の映像作品を制作してきた映像クリエイター。テレビ番組「新宿ノラ猫物語」では、「ATPグランプリ」、「郵政大臣賞」、「ギヤラクシー賞」の3賞同時受賞を達成。また最近では、NHKと10年がかりで共同制作した「マンホールチルドレン」(監督・高橋太郎/ナレーター原田芳雄)を自主製作として劇場用に再編集し2010年2月にパルト9で公開した実績などもある。山口氏は今回の「樹海のふたり」が劇映画初監督。

同映画は、制作会社(テレビ番組制作会社)が権利を保有し、映像作品の新しい出口の開拓にチャレンジするという目的で制作されたもの。製作委員会参加の4社のうち、えふぶんの耆社長の山口氏が監督・脚本を務め、残る3社の社長(相川弘隆、藍澤幸久、徳永一彦)は揃ってプロデューサーを担当。さらにエグゼクティブプロデューサーを、いまじん会長の柏井信二氏が務めている。

了